

「某キャル社長も言ってた？  
「農作業着、ダサくね？」

ま、ホントによく言われますよ  
ね。言われるたびに「うるせーっ！  
おめーから言われるスジアイねえ  
〜ぞ〜!!」とよく思います。

で、彼ら彼女たちはとてもいい人  
なので、頼んでもないのに「農業者  
のために」とか言って農作業服をデザ  
インしたり、さらにはファッショ  
ンショーまでやってくれたりしていま  
す。僕なんかはそれを見て、「あ、  
やっぱり分かかってないなあ……。  
せっかく手間と経費かけて頼まれて  
もないことやってんのに」と思って

そして「ジーンズ系」。これがま

た厄介で作業着＝ジーンズという固  
定観念から来ているんでしょうけ  
ど、米国中西部の乾燥地帯由来の作  
業着であることを忘れてはなりません。  
ん。ここは日本なんです！ 厚くて、  
重い、膝は曲げにくい、濡れると致  
命傷ということ、農作業着として  
は考えにくい素材です。

僕が農業界に入ったのは大学卒業  
後、前職の契約農家で山梨の清里に  
ある農場に行ったことが始まりで  
す。そこではレタスと白菜を作っ  
ておりました。レタスは朝2時から収  
穫です。高原特有の濃い朝露とレタ  
スの切り口を水で洗っていくので、

# 住めば都

しまいます。

では、実際どういうものが多いか  
というと、まず「ただ派手」である  
だけ、確かにヴィヴィッドで映える  
色だけでも、なんかそれだけで終  
わってしまったているものですね。

服がビシヨビシヨになります。

最初はナイロンのカップみたいな  
素材のものを着ていたのですが、水  
は入らないけれど、中は汗で水が  
入ったように濡れ、今度はポリエス  
テルのものを買ったなら水がすぐに侵

入してくる状況で、とにかく不快で  
なりませんでした。作業に集中でき  
ないし、なんかイライラしてくるの  
です。

で、それを解決してくれたのがJ  
A長野で販売しているゴアテックス

## 第3回

## 続・農業者にとって 一番カッコイイ農作業着とは？

農業経営者の特権、それは美味しい食材に確実にありつけることではないか。

だが、普段は案外見逃されがちなのことに気付けば、

もっと農業が楽しくなるかもしれない――。

農業界きっての美食家!? 鹿嶋パラダイス・唐澤秀が語る、

農業と食の可能性とは。

のカップでした。

これがゴアテックスを使用しているながらも、とてもリーズナブルでカッコイイ。もちろん水は通さないが、汗は通してくれるので、中は蒸れないのです。とても快適に作業ができます。億劫であった朝のレタス収穫も逆に「楽しみ」になってしまったほどです。

そもそも作業着とは、その作業を快適にスムーズにこなせるために最適化されたユニフォームです。

ゆえに、素材の選定、裁断、縫製はとても重要なファクターになります。それにデザイン性が加われば、快適かつオシャレという最強の作業着ができるわけです。

### 農業⇨全天候型産業を忘れちゃいけない！

雨が降ろうが、雪が舞おうが、やらんといかんときはやるのが農業であり、土と水、温度差、湿度差、高温、低温とあらゆる天候に対し順応していくのが農業者です。

そう、「農作業着」というカテゴリーがない代わりに、同じ全天候型のカテゴリがあるのです。それが「アウトドア（山登り）」です。ゴアテックスもアウトドア製品でよく使

# 耕せば楽園

用されている素材であります。

実のところ、僕もアウトドアメーカーのTシャツやパンツ、上着、カッパなど着ていますが、作業をしていて何しろ快適であり、また快適に作業できることが喜びになり、朝、その服を着る度にモチベーションが上がりワクワクした気分になれる、そんな服なんです。

日本の農業者が毎日こんなテンションで作業できたら、効率も良くなるし、見た目もよく映るし、笑顔が増えるし、従業員満足度も上がるし、いい事尽くめのような気がしてなりません。

そしてずっと温めてきた企画、農

業者が提案する農業ファッショントして日本のアウトドアブランドの雄

「モンベル」さんとコラボレーションしてアグリファッションショーを去年より開催!! しております。今年は11月10日13時30分～14時、翌11日は11時30分～12時の日程で、東京・日比谷公園芝生ステージで開催します。

将来的な夢は「農作業着」カテゴリーを作り上げ、季節ごとに配布されるパンフレットに農作業をする農業者の勇ましい姿の写真を掲載されること。みんなが唸る程カッコイイ姿がそこに載ることができるよう、今ガンバっているところです。



## 唐沢 秀

からさわ・しゅう●1976年静岡県浜松市生まれ。明治大学農学部卒業後、1年間の就職浪人を経て2000年(有)農業生産法人茨城白菜栽培組合入社。ハクサイの生産から出荷までのマネジメント業務全般に携わる。08年同社を退社し、独立。屋号を「鹿嶋パラダイス」とする。全品目において無農薬、無肥料の自然栽培を行なっている。水田1.2ha、ハウス10a、露地5ha。今春には鹿嶋参道に直営飲食店「楽田家」をオープン。

<http://kashima-paradise.com/>